

# 高岡市立博物館に親しむ会

# KA 川 MARU 鍛冶丸

創刊号

平成25年  
11月1日



高岡市立博物館全景



高岡古城公園見取図

## 鍛冶丸ってね



高岡城は、本丸・二の丸・小竹藪と三の丸・明丸・鍛冶丸という廓（城内の広場）を2列に並べ、その間を水位を異にする3つの水壕が取り囲んでおり、防御力を高めています。博物館は大手口から直進し、約100メートルのところ、「鍛冶丸」にあります。

高岡城を築いた前田利長は、高岡城内に武器をつくる職人を十数人住ませたと伝えられ、この鍛冶丸で作っていたのかもしれない。

全国の城郭でも聞いたことのない“鍛冶丸”を会報誌の名称とし、この地に人が集まり全国へ発信する会にしたいと、役員会で考え抜いて選びました。

## 会報誌発行にあたって

高岡市立博物館に親しむ会  
会長 太田久夫



高岡城跡は、廃藩置県後の明治5年に民間に払い下げのため入札され落札者も決まっていた。ところがこの城跡は、「古御城」として町民に親しまれており、まちの誇りとして何とか残したいと第17大区区長服部嘉十郎らが奔走し、明治7年7月に新川県権令(山田秀典)あての陳情書を認めました。すばらしい景観であることを述べるとともに、園内設置施設として「博物館」が記されています。

139年前には、このように先進的な考え方を持つ人もいたのに、博物館の設置は昭和45年6月まで待たねばなりません。設置されるや、高岡の歴史・民俗・伝統産業の資料を収集保管するとともに、展示・講演会などを開き、高岡研究に大いに貢献しておられます。これらの事業を推進するに当たって職員は日頃研究に励んでおられます。

「高岡市立博物館に親しむ会」は博物館の活動を支援するとともに、市民に親しまれる博物館づくりに側面から応援しようとして結成しました。博物館での活動はもちろんですが、動く博物館活動を展開することにしております。

この度、会員の皆様に、博物館の行事はもとより、いろいろな文化的情報をお知らせする会報誌を「鍛冶丸」と題して発行することになりました。高岡学を構築する拠点としての博物館を会員の皆様とともに活動していきたいと思えます。

## 「博物館に親しむ会」誕生秘話

高岡市立博物館  
館長 晒谷和子



「商用で旅する時は駅に着いて、まずは博物館へ行くことにします。その土地の歴史を知るには博物館が一番やちゃ。早よ、収蔵庫の立派な新しい博物館作ってほしいね」

「“博物館に親しむ会”を作ればたくさんの市民が盛り上げてくれるのに、なんで作らんがけ」  
私が博物館長になった6年余り前から、博物館協議会委員や多くの博物館来館者の皆様にこのようなご意見・ご要望を頂いてきました。

何とかして、多くの人に気軽に立ち寄ってほしい、高岡の歴史の発信拠点にしたい、そのためには市民の皆さんに“集い、語らい、楽しんで”もらう会を結成する以外にない、と発起人会が立ち上げられたわけです。発起人は「飛見立郎様、太田久夫様、多田慎一様、近藤昭美様、水野俊雄様、樽谷雅好様」の6名で、会則案の作成や会員の募集に多大なご尽力を頂きました。

そして3月6日“高岡市立博物館に親しむ会”設立の運びになったわけです。飛見前会長をはじめ快く役員をお引き受け下さった皆様に深く深く感謝申し上げます。

——先人の暮らしを未来につなぐ博物館、古を知り未来を切り開く博物館——を目指し、大人も子どもも楽しく学べる“親しむ会”の発展を心より祈念しております。





# 高岡市立博物館に親しむ会 発足しました!!

3月6日、高岡市立博物館に親しむ会の設立総会を開催し、会員相互の親睦と博物館への支援・協力を通じて広く愛される博物館づくりに貢献することを申し合わせた。会員50人が参加し規約を承認し飛見立郎会長をはじめとする役員を選任し、事業活動については、新年度に決めていくこととした。

設立総会の後、晒谷館長が「いま光り輝く利長公の遺産」と題して記念講演し利長の生涯や業績を紹介した。



設立総会であいさつする飛見前会長



定期総会で就任のあいさつをする太田会長

## 平成25年度 定期総会

7月26日、高岡市立博物館に親しむ会の定期総会が開催され、会員60名の出席があり、平成25年度事業計画、予算〈案〉が承認された。当会の設立にご尽力された飛見前会長の急逝に伴う新会長に太田久夫氏、副会長に新たに神保成伍氏を選任した。太田会長は、「会の活動を通じて、高岡の歴史を学ぶ礎としたい。」と述べ、晒谷館長は、「皆さんの力で博物館の活動を盛り上げていきましょう」とあいさつをした。

今後の事業を推進するため企画・運営委員会(委員長 神保成伍)を新設し研修部会、ワークショップ部会、広報部会の3部会を設け、各部の提案を基に親しむ会の活動や博物館の魅力のPRに取り組む。

引き続き、太田会長に「高岡の歴史秘話」と題する講演をしていただき、高岡の知られざる面が紹介された。

### ■高岡市立博物館に親しむ会役員

会 長	太田 久夫				
副会長	多田 慎一、神保 成伍、晒谷 和子				
幹 事	荒俣 勝行、稲塚 幸枝、宇波 真一郎、 岡田 有弘、清水 静子、立野井 亮、 樽谷 雅好、古谷 昭史、水上 悦子				
監 事	水野 俊雄、近藤 昭美				

■企画・運営委員会	委員長	神保 成伍
研修部会	部会長	樽谷 雅好
ワークショップ部会	部会長	近藤 昭美
広報部会	部会長	水上 悦子



役員会会議



# いよいよ動き出しました！！

## “歩く博物館”の試み

研修部会長 樽谷 雅好

「親しむ会」研修部会の部会長を仰せつかり、何か企画を立てねばと考えて「郷土史を訪ねて」シリーズを5件提案した。実現性を扱って置いた私案では、①歩く博物館、②古図で巡る「高岡」、③千保川を呑む、④前田利長を旅する、⑤語る（聴く）博物館、を月一回ペースで各々5回ずつ開催する心算で居る。

先日（2013.9.25）、「郷土史を訪ねて①歩く博物館（Ⅰ）前田利長墓所の周辺を歩く」を実施した。（以後、（Ⅱ）瑞龍寺の周辺、（Ⅲ）関野神社の周辺、（Ⅳ）高岡御車山の巡行路、（Ⅴ）大・千保川の川跡と続ける予定。）…私は講師として、1、定塚町交差点＝往還道の付替えと桜馬場の延伸。2、定塚町5丁目＝開町以来の枡形構造。3、定塚町4丁目＝藤本弘（藤子・F・不二雄）さん旧宅跡。4、第1定塚踏切と第2定塚踏切＝併設の理由。5、定塚神社＝熊野社である由来。6、前田利長墓所＝マジックと不思議。7、高岡新西国三十三札所／第十番（大野公民館前）＝石仏の像容変化、等を各所で解説した。

所要2時間、一万歩ウォークで「ふるさと再発見」と謳ったものの、参加者の殆どが高齢者なので少し厳しいかな？と心配したものだったが、いの一番にへばったのはほぼ最年少64歳の私であったことに吃驚し、些か困惑した。



いざ！出発前 説明



50人の大所帯を誘導する安全係



前田利長墓所



中井さんの解説に聞き入る会員



## 第1回 利長墓所の周辺を歩く



湧き出るように解説する樽谷研修部会長



高岡新西国三十三札所

## 郷土の歴史再発見

研修部会では、博物館での座学講座だけでなく、実際に歩き高岡の歴史を学ぼうと「1万歩ウォークでふるさと再発見」歩く博物館事業を企画した。第1回目は、9月25日に行われ、今年400年回忌を迎えた加賀藩2代藩主前田利長公をテーマに会員50人が国指定史跡・前田利長墓所周辺を散策しながら郷土の歴史を学んだ。

第2回は10月23日に開催され、瑞龍寺の周辺の大木白山社、観音寺、槌の宮、往還道の枅形、十七ヶ用水の分岐点などを巡り、意外と知らない高岡の歴史を参加者は肌で感じとり心地よい汗を流した。なお、第3回は、11月20日に関野神社周辺を予定している。



槌の宮参道を横切る城端線



庄方用水と中川用水の分岐点

## 第2回 瑞龍寺の周辺を歩く







## 親しむ会の呈茶席

会場：高岡市立博物館 茶室 松聲庵

時間：11時～15時

参加料：300円（お抹茶とお菓子）

開催日：平成25年 9月14日（土）

9月21日（土）

9月28日（土）

10月12日（土）

10月26日（土）



## 博物館で抹茶を楽しみませんか

ワークショップ部会長 近藤 昭美

一市民として念願の「高岡市立博物館に親しむ会」を3月6日に設立しました。

会の運営の一環として「ワークショップ部会」が設置され、その中に「博物館で抹茶を楽しみませんか」をテーマに、9・10月の土曜日（5回）午前11時～午後3時まで来館者を対象に呈茶することにし、9月14日より実施いたしました。四季を通じて味わいのある古城公園を愛する市民の方々に、更に博物館の魅力を知っていただこうと企画したものです。9月13日は、前田利長公が高岡城へ入城された日で、翌14日の茶会は利長公を偲ぶ茶会の機会ともなりました。

博物館への入館者の中には、家族連れや県外からの観光客をはじめ学生、友達同士など博物館に関心を持っている方々が意外と多いことを知りました。

お茶室「松聲庵」は鍛冶丸の一角にあり、お客様は一面に杉苔が広がる美しいお庭やお堀からの心地よい風に腰掛けでのお抹茶一服を楽しんでいらっしゃるようで、担当者の一員として、この事業に大きな意義を感じました。今年は、10月26日までとし、来年は雪解けを待って、また再開する予定です。ご来館をお待ちしております。



抹茶を一服



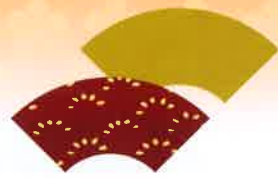
野点傘と利長くんで呈茶席をPR



準備に忙しい近藤先生と会員の皆様



（カット：金森悦子）



## 飛見立郎前会長に感謝して

飛見先生は「これからの地域を背負っていくのは子供や。子供たちに高岡の歴史を教えてやりたい。それも手と頭を使ってな」と、自ら切り紙で“前田利長公の鯨尾の兜”や“幻の高岡城”“北前船”“獅子頭”などを発案し子供たちに教えてくださいました。常にハサミを持参し、見ている間にいろんなものを作って「ほれっ、どうや」と驚かせられたものです。

高岡に伝わる怪談やちょっと不思議な話を語る“宵闇に聞く高岡の怪談一怪異譚のフォークロア”の開催にも肝いりで、子供たちを目いっぱい怖がらせたいと、ご所蔵の幽霊画を拡大して壁に貼り付け、100枚余りの骸骨を切り紙で作って参加者に配るなど工夫を凝らされました。さらに、この地に生き、亡くなった先人の靈魂を慰めたいと読経を依頼、厳かななかにも清々しく神々しい雰囲気づくりで会場が一挙に清められました。



熱心に指導された飛見前会長

茶目っ気たっぷりて人の意表をつく発想をされ、温厚な人柄と高邁な理想をもってご指導されました。今となってはご存命中に先生念願のこの会が発足できたことで自らを慰めるばかりです。

飛見先生有難うございました。

(晒谷和子)



### 会員の広場

#### 親しむ会に参加して

会員 押川 和子

前田利長400回忌記念 郷土学習講座開催を知り、市立博物館へ足を運ぶことになり、第1回目より受講しております。3階講堂は満員で市民の関心のほどが伺われます。すばらしい講師の皆様、それぞれの分野での充実した内容

で高岡を学ぶ機会を与えてくださりましてとても満足しています。館内では特別展「たかおか町絵図探訪！」と題して多くの珍しい資料が展示され、見ごたえのあるものでした。

また、博物館に親しむ会に入会して、「郷土史を訪ねて歩く博物館1万歩ウオークでふるさと再発見」にも参加して高岡の歴史と文化に親しみ先人の残した偉大なる業績にふれ感銘を受けた次第です。藤子・F・不二雄さんの旧宅が定塚町にあったことなど新しい発見もありました。今年度の博物館の企画は、まだまだ続きますがとても楽しみにしております。中田地区婦人会の製作した万葉の衣装をまとったかかしが、万葉まつりに華を添え博物館の前に飾ってあったのは皆様の目に留まり、和やかな気持ちになったことでしょう。長い歴史を重ねてきた高岡、またこれからも歴史を作っていく高岡、皆で博物館に親しみ足を運んでいきたいものです。



万葉朗唱と博物館を応援する万葉かかし

### ● 会員募集のご案内 ●

高岡市立博物館に親しむ会では、随時会員を募集しています。博物館の活動を支援するほか、高岡の歴史と文化に親しみ、相互に親睦を図る活動を行います。あなたも会員となって、郷土への理解を深め、市民に親しまれる新しい博物館づくりに参加してみませんか。

#### ■年会費

- ・一般会員 1口 1,000円
- ・賛助会員 1口 5,000円

#### ■申込方法

入会申込書に必要事項を記入のうえ、会費を添えて「高岡市立博物館に親しむ会」事務局へお申込みください。





# 博物館の催し ご案内

講座名	内容／講師等	開催日	時間	参加料	備考
■呈茶の会	「松鷲庵～博物館で抹茶を楽しみませんか～」	11/9(土)	午前10時～午後3時	400円	(お茶とお菓子)
	茶室見学会		①午前11時～ ②午後2時～	無料	
	常設展示説明会		①午前11時30分～ ②午後2時30分～	無料	
■郷土学習講座(第5講) 講師：職藝学院教授 上野 幸夫氏					定員：50名 (当日、先着順)
	「国宝・瑞龍寺の魅力と七間浄頭・浴室の復元」	11/16(土)	午後2時～ 午後3時30分	無料	
■歩く博物館～1万歩ウォークでふるさと再発見～					
	関野神社周辺を歩く	11/20(水)	午前10時～正午	500円	博物館に親しむ会 主催事業
	高岡御車山の巡行路を歩く	26年3/8(土)	午前10時～正午	500円	
■土曜おもしろ講座・高岡のみじかい話 講師：当館学芸員					
	①加賀藩十村・五十嵐篤好	11/30(土)	午後2時～ 午後2時30分	無料	
	②『高岡湯話』の世界	12/14(土)			
	③加賀藩主・前田重教と治脩	26年1/18(土)			
	④未来へつなぐ高岡のお宝(展示説明会)	26年2/8(土)			
	⑤陵墓に指定・恒性皇子墓	26年3/15(土)			
■古文書講座「はじめての古文書教室」 講師：富山県公文書館古文書調査員 仁ヶ竹 亮介氏					・定員：50名 (定員になり次第 締め切り) ・1/7(火)から受付 電話、FAX、メールで
	第1講	26年1/15(水)	午後2時～ 午後3時30分	1,500円	
	第2講	26年1/29(水)			
	第3講	26年2/12(水)			
	第4講	26年2/26(水)			
■館藏品展	未来へつなぐ高岡のお宝～新収蔵品を中心に～	26年2/8(土)～ 3/31(火)	午前9時～午後5時	無料	

会員証を  
発行しました!



レトロな歴史ある博物館を背景にした利長くん。虹は、会員と博物館をつなぐ「心の懸け橋」です。

## 「鍛冶丸」編集後記

会報誌の「鍛冶丸」がようやく発刊の運びとなりました。今年3月の親しむ会発足から約8ヶ月。会報誌のネーミングや掲載内容の検討から始まって、原稿や写真などの依頼、取材、編集、校正など、創刊号発刊に向けて有志の部員が携わりました。

9月から動き出した親しむ会の活動を中心に、まずは発足からの様子をお届けすることになりました。高岡の歴史や文化、暮らしのことなら博物館。博物館に気軽に足を運んでもらい、身近に感じて頂けるよう、鍛冶丸号の出航です。会員の皆様の声も盛り込みながら、より親しめる紙面作りに努めて参りますので、どうぞ鍛冶丸号をよろしく!

(水上悦子)